

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【鹿児島県】

学校名【鹿児島市立中洲小学校】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	鹿児島市立中洲小学校4年生 4年1組 32人 4年1組 31人 計63人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	スポーツを通じた共生社会の構築に向け、講演や車いすテニスの体験等パラリンピアンとの交流を通して、パラリンピックで活躍するアスリートの生き方・考え方に触れ、自己の生き方を考えることができる。
5 取組内容	【事前学習】 ○ 車いすテニスのパラリンピアンとの交流の事前学習として、東京大会の種目等について、夏季休業の自由研究で調べ学習に取り組ませる。 ○ 東京パラリンピック大会について、自分の興味・関心のある種目について、テレビで観戦する。 【イベント当日】 ○ 車いすテニスのパラリンピアンの講演を聞く。 ○ 車いすテニス用の車いす体験をする。 ○ 車いすテニスにチャレンジする。 【事後学習】 ○ 車いすテニスのパラリンピアンとの交流を振り返り、感じたこと・考えたこと等をワークシートに書く。 ○ 共生社会の実現に向け、自分たちにできることについて話し合う。

<p>6 主な成果</p>	<p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京パラリンピック大会にあわせて、パラリンピックの競技の視聴や調べ学習等を通して、パラリンピックの種目のスポーツとしてのおもしろさやパラアスリートの努力に気付く子供の姿が見られた。 <p>【イベント当日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツを通じた共生社会を実現するためには、インターネット等の調べ学習だけでなく、実際に自分がその競技を体験することを通して、競技の難しさ、おもしろさに気付く子供の姿が見られた。 ○ パラアスリートの講話を聞いたり、車いすテニスにチャレンジしたりすることを通して、パラアスリートの生き方や考え方に触れ、自己の生き方について考える子供の姿が見られた。 <p>【事後学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パラアスリートとの交流を振り返る中で、共生社会を実現するために、自分たちにできることとして、学習の成果を一人一台端末を活用し、まとめ、発信する子供の姿が見られた。
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>鹿児島県内の他の学校と異なり、本校は、鹿児島市内の中心部の学校である。学校の周りは高層ビルやマンションが立ち並びが学校周辺は、段差があったり、学校も障害者の方が使用できるトイレの数が少なかったりする。今回の事業は、来られた方の立場にたって、学校や地域のバリアフリーの現状を見つめさせるまたとない機会となった。</p>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京大会は、日本で開催されたので、子供たちも時差がなくパラリンピックの視聴ができた。今後、日本と時差のある海外でパラリンピックが開催される場合、子供たちに「いつ」「どんな時間」でパラリンピックの視聴の時間を確保するかは大きな課題である。 ○ 今回、イベント開催にあたり、Zoom を活用して事前の打合せができたが、必ずしも通信環境に恵まれている地域だけではない。そのような場合でも、講師と学校側が事前打合せを具体的に行うためには、通信環境のさらなる整備が不可欠である。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2023年に燃ゆる感動かごしま大会が開催される。全国から、本県にたくさんの障害者のアスリートの方が来鹿されることが予想される。今回の東京大会の成果の活用として、全国から来鹿される障害者のアスリートの方々とは交流できる機会があればぜひ応募し、共生社会の実現に向け、障害者スポーツを「見て」、「感じる」場の設定・実践に努める。 ○ 今回のパラアスリートとの交流の経験を生かし、5年生では、燃ゆる感動かごしま大会について、総合的な学習の時間、長期休業等を活用し、調べ学習を位置付け、その学習成果を本校ホームページを使用して外部に発信する。